

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

同志社 東京ジャーナル

2019 Winter
No.114



同志社東京校友会

INDEX

新春挨拶 児玉正之東京校友会会長
同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金 横山 徹 代表幹事
初夏の集い参加のお願い 港 章 実行委員長
特別協力会員の集い／リユニオン&ホームカミングデー
同志社フェア in 広島
特別講演会・赤神諒さん／立教経済人クラブ
東京校友会はじめて物語・東京校友会の名称

同志社スポーツ／関東同志社スポーツユニオン総会
片桐家同志社五代記（二十七）／連載コラム 今出川四季
校友訪問・野村證券 社長 森田敏夫さん
首都圏校友の店・天ぶら 一宝 東京店
東京メディアクローバー会／親睦ゴルフコンペ
東京クローバークラブ
幹事会・評議員会報告／すみれ亭句会

2019年 新春のごあいさつ

ALL DOSHISHAで新たな未来へ

「躍動する同志社」実現に同志社人すべてが共に力を携えようとの想いが「ALL DOSHISHA」に込められています。東京校友会がその「輪」を広げて、「ALL DOSHISHA」の一翼を担いましょう！皆さんと共に新しいステージにチャレンジ！

同志社東京校友会会長
児玉正之

明けまして
おめでとうございます



校友の皆様、新年明けましておめでとうございます。
はじめに、東京校友会活動へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

昨年は大規模な自然災害が、世界中で多発しました。地球温暖化にブレーキがかからない状況に、神様が少し警鐘を鳴らされたように思います。

今年は5月には新元号がスタートし、その前後は10連休になるようです。

昭和の日・退位の日・即位の日が続く、貴重な経験が出来ることに感謝。2019年の手帳やカレンダーは様々な工夫があり楽しいです。

このタイミングで、平成の時代を振り返り、新しい時代への思いや抱負を考える時間を作ろうと思われている校友が多いのでは？

昨年は関東圏出身学生4名に給付型奨学金を支給しました。

「春の集い」は初の全員着席方式で、千玄室大先輩のご講演に参加者全員が感動、欠席校友に上手く伝えられずにいたところ、校友の東多江子さんが日経夕刊に「茶道とキリスト教」として取り上げていただき「良かったよ、これ見て」で解決、ありがとうございます。
生誕の地碑前祭後のイベントは「縁日広場」を企画しました。

子供さんをはじめ人が集まる心配でしたが200名を超える大盛況の下、老若男女が歴史を学びながら大いに楽しめました。

こうした様々な企画・イベントは常任幹事の皆様や各プロジェクト等に参加いただいた校友の皆様のご協力とご尽力の賜物であり御礼を申し上げます。
昨年からの原点到り、東京校友会の更なる飛躍の礎創りをスタートさせました。

基盤構築の「一丁目一番地」は会員拡大です。校友名簿の整備があつて初めて会員拡大に繋がります。東京地区には多くの就職者が配属され、かつ転勤など人の流入流出が多く、名簿のメンテナンスが肝要です。

現在1万人近い校友の名簿を保有、一方で東京圏には同志社卒業生がその5倍以上と推測しております。現在名簿管理は2つのシステムで動いており精度向上のため一元化を行います。

合わせてメールアドレスの収集に注力を致します。

校友の皆様のご理解ご協力をお願い致します。なお個人情報保護とその取扱には重々注意をいたします。



東京校友会独自の紹介パンフレット

第21回目の「春の集い」は開催日が6月16日(日)となり「初夏の集い」として開催致します。港実行委員長はじめ実行委員会には昨年からの準備をいただいております。校友の皆様の参加をお待ちしております。

校友の親睦を深める「群れる」機会の提供により、「輪」が広がりが「絆」を確かめ合える事業を充実してまいります。

大学・学生への支援活動や関東圏での同志社のプレゼンスを高める取組も強化致します。

昨年東京に「メディアクローパー」が発足、心強い団体が立ち上がり期待しております。
「ALL DOSHISHA 募金」は初年度2億円が集まりました。

学校法人の帰属収入の寄付金比率も1.3%から1.8%になり、立命館の2.3%との差は0.5%になりました。募金企画も工夫致しますので多くの校友の募金をお願いします。

最後に校友の皆様のご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。



横山徹代表幹事

すでに、前総会でご案内いたしましたように7年後、2025年に同志社は創立150周年を迎えます。そこで様々な記念事業を行うため、一昨年の10月から大学と校友会一体となって募金活動を展開。今回は概要の再確認と現在の進捗状況について説明します。東京校友会会員の皆様に十分なご理解、ご協力をいただけますよう改めてお願い申し上げます。

創立150周年「同志社大学 2025 ALL DOSHIS HA募金」のご案内

同志社東京校友会
代表幹事・横山 徹(71年・工)

今回の募金は、創立150周年に向けた「ビジョン2025」の推進をはじめ、奨学金給付、スポーツ活動や文化系団体の課外活動支援、新図書館や学生寮の建設といった施設設備整備を目的に行われます。

■募金の概要

①期間…2017年10月～2026年3月

②目的…本募金事業は、中長期ビジョンの推進をはじめ、経常的取組として奨学金給付・課外活動支援・施設設備整備などの資金として活用されます。

③目標金額…50億円

④募集単位…

個人1口1万円

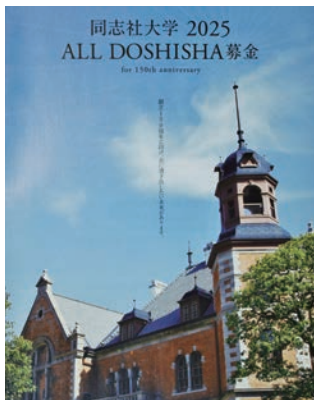
法人1口10万円

⑤税制措置…

個人、法人とも有

■全国の取り組み

大学では学長室に募金課を設置して上場企業への大



大学作成の募金パンフレット

学独自の推進と全国支部の窓口として活動しています。また校

友会本部では、募金課との調整や支部推進の支援活動を行い、まさに全組織挙げて取り組んでおります。これまで全国支部募金担当を集めて2回の推進会議を実施し、成果の確認と方針の徹底を行いました。

■他大学の状況(概要)

在京大学は取り組みの歴史も

あり活発。特に早稲田・慶応・立教は事業活動収入に対する寄付金比率が高く、関西では立命館が高くなっています。同志社は主要10大学の中で2016年度では7位、2017年度は5位となっております。

■東京校友会の取り組み

7月から常任幹事でプロジェクトチームを立ち上げ、都内で校友が代表取締役の企業576社のうち、特に当会会員である企業31社に絞り込んで企業訪問活動を計画。

現段階では14社を訪問。徐々に成果を上げつつあります。今後さらに枠を拡げ強力で推進します。

■新たな展開

①団体として募金

今、支部など団体での募金が活発化しそうです。東京校友会としてもその動きに呼応します。

②ワンコイン募金缶運動

会員が自宅、または所属団体で、硬貨を缶に入れ募金に回す運動。そのお手伝いを東京校友会でさせていただきます。

【募金の目的と使途】

VISION2025の 事業推進

- リーダー養成プログラム運営支援
- グローバル化の促進支援
- 高大接続プログラムの展開支援

奨学金給付

- 特定寄付奨学金
- 育英型奨学金

課外活動支援

- スポーツ活動充実資金
- 文化系公認団体活動充実資金

施設設備整備

- 今出川校地新図書館建設
- 新たな学生寮建設

「同志社東京初夏の集い」へ

みなさんの参加をお願いします。

皆さんの熱いご要望にお応えして、昨年に引き続き

全員着席、6月16日(日)にホテルニューオータニで開催

「2019年初夏の集い」実行委員長 港 章(75年・工)

皆様、新年あけましておめで
とうございます。心新たに新年
をお迎えの事とお慶び申し上げ
ます。

さて、本年は6月開催のため
例年の「春の集い」を「初夏の
集い」として開催します。会場
は昨年と同じホテルニューオー
タニに決定。そして皆様の強い
ご要望にお応えしまして、全員
着席とし、ゆったりとお過ごし
いただけるようにしました。

特に本年はメサイアを復活し
ます。まずは荘厳な音楽をお楽



港 章 実行委員長

しみいたしながら開会です。

今年のテーマは「心新たに！
WHO ARE WE! LALALAI」で
す。本年は改元の年です。新元
号の下、何事にも心新たに取
組み、そして20回の節目を終え
たこの催しをまた一から心新た
に出発する。同志社人とは何か
をこの年にもう一度自覚しよう
と呼び掛けることを目的としま
した。

今年はラグビーワールドカッ
プ開催年にあたり、2020年
東京オリンピック前年でもあ
り、スポーツ関係の催しを企
画します。同志社チアをア
レンジした、WHO ARE WE!
LALALAIを旗印に皆さんの「
期待に沿えるような「初夏の集
い」に創り上げますので、ご期
待ください。



会場は今年もホテルニューオータニ

実行委員会は昭和50年・昭和
60年・平成7年卒業生が担当。
東京校友会常任幹事会の皆様の
お力をお借りして、皆さんにご
満足いただけるよう努力します。
クラブ活動関係、年次会の
方々もお誘いあわせの上、ぜひ
ともご参加くださいますようご
案内申し上げます。

「初夏の集い」のご案内

催事が一杯：青春のメロディーで 踊る大懇親会2019！

今年の初夏の集いの催しは、
盛りだくさんの内容でお届けし
ます。講演会はオリンピック前
年にふさわしく、オリンピック・
モントリオール大会柔道無差別
級金メダリストで現講道館館長
の上村春樹氏にご講演いただき
ます。また多くのオリンピッ
ク選手を輩出している同志社ス
ポーツユニオンから同志社とオ
リンピックと題して特集を組み
ます。続いて新元号ははやの
この時、同志社と平成について
振り返って見ようと企画してい
ます。

今年の実行委員の中核となる
昭和50年卒業生の特色の一つが
多くのプロミュージシャンを輩
出していることです。荘厳なメ
サイアと東京オリンピックを
テーマにした講演に続き、大懇
親会のお楽しみとしてミュー
ジックエンターテインメントを
開催します。

昭和50年卒のミュージシャン
を代表してステージを務めます



大懇親会には K-FUNK が登場！

のは、もんだ&ブラザーズの
大ヒット曲「ダンシング・オー
ルナイト」を始め、数多くの作
品を送り出してきた作詞作曲家
であり、ライブパフォーマー
として現在も精力的に活動を
続ける、水谷啓二君(法卒)。
同君率いるベテラン揃いのバ
ンドK-FUNKが、特別に用意
するのは、それぞれの世代の
OB・OGが学生時代に聴いた！
唄った！懐かしい青春ヒット
パレード！思わず踊り出した
くなるK-FUNKのファンキ
なオリジナル曲とともにぜひお
楽しみ下さい！



中国の台頭と米中関係について語る浅野亮教授

「特別協力会員の集い」レポート

「中国の台頭」下の世界秩序と

米中関係

講師・同志社大学南シナ海研究センター長

浅野亮法学部教授

東京校友会に一口2万円の年会費をいただいている特別協力会員の方々の集いが、11月13日（火）18時から東京サテライトキャンパス・セミナー室にて行われました。参加者は55名。

第一部 挨拶と講演会

来賓のご挨拶は松岡敬学長より。「VISION 2025」を実現

するために校友の皆様のお力をお借りしながら様々なことを実行しています。同志社のブランド力の向上のために先日、岩波書店より佐藤優氏との対談本『今大学で勉強するということ』を刊行しましたし、3泊4日の『新島塾』も開校しました。また、ドイツ・テュービンゲン大学には同志社のEUキャンパスを開校し、学生や教授の交換、職員の派遣が決まりましたが、これ

らの大学改革の新しい試みは皆様からの寄付金をベースにしています。同志社の未来を作るため皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます」

続いて、開会の挨拶は東京校友会、児玉正之会長より。

「特別協力会員の皆様のご支援に御礼申し上げます。校友会では①校友の親睦、②大学への支援、③関東地区での同志社のプレゼンスを高める、④特別会員向けの企画等々を行っています。『ALL DOSHISHA 募金』にも校友会として支援しております。昨年スタートしてようやくいろんな人に広がりました。これからも皆さまからのご支援をお願いいたします」

そして、講演会は『中国の台頭』下の世界秩序と米中関係」と題し、同志社大学南シナ海研究センター長 浅野亮法学部教授から。「専門は中国の安全保障、30年前は誰も研究する人

もなく少数派

の異端の研究

でした」と自

己紹介。講演

は事前に配布

されたレジュ

メにそって進

み、中国の現

状を見ると

は軍事・政治・

経済の全体

を見ていくこ

と、今年は日

本の対中対策

が、「米中貿

易戦争」の中

で変化してき

たこと、しか

し、過大な期

待はしないこ

となどを教えていただきました。

第二部 懇親会

懇親会は19時45分より、東京サテライト・キャンパスと同じビルの地下に店を構える「京料理 ちりり」にて。乾杯のご発声は、校友会中村友一副会長。英語での乾杯のスピーチが印象的でした。立食のテーブルは6つ、各テーブルで名刺交換や会話がはずみます。また、先日の



松岡敬学長と浅野亮教授を囲んで

国会審議で代表質問された国会議員も参加していて、「テレビで拝見しました」と声がかかります。会社の代表取締役や役員が多い中、大学教授や弁護士、演劇倶楽部の座長兼俳優など、多士済々の会員が集いました。会計事務所の所長にその場で会社の経理の依頼があるなど、大いに盛り上がりました。

文責／作村満明（77年・法）
写真／新田博伸（77年・法）

錦秋の京都で ALL DOSHISHA の恒例 2大イベント

首都圏からも校友が続々と リユニオン&ホームカミングデーへ

「そつだ京都、行こう。」
JRのキャンペーンに誘われたわけではない。この季節、我が母校同志社では卒業生を暖かく迎えてくれる「リユニオン&ホームカミングデー」がある。関東・甲信地区からも続々と京都へ卒業生が集って来る。



リユニオン開会式の讃美歌斉唱

懐かしい大学周辺を散策

11月11日（日）朝、出町柳で京阪電車を降りた。学生時代の京阪電車は三条までしかなく、地下に到着では出口がわからず、駅員さんへ「同志社大学へは番出口ですか」と聞くと「3番出口を上がって下さい」とのこと。階段を上がり爽やかな秋

晴れの外に出ると、学生時代に友人とたむろした三角州を右に見て鴨川に架かる橋を渡る。遙か山並みに聳えるは比叡山。

目指すのは母校だが、その前に時間があるので友人と学生時代のなじみの食堂、中島をさがしに御所の横道へ。しかし、残念ながら40年前の食堂はもうすでにその場所にはなかった。

折角だからと御所の中へ。御所の裏鬼門の猿の彫り物に挨拶して、さらに相国寺へ足を伸ばす。池や苔の庭を見ながら、同行の友人は、ここを通り抜けたのも学校から下宿へ帰っていたそうで懐かしむ。

今出川キャンパスへ

そして、いよいよ正門に掲げられた同志社の紫の校旗をくぐり「良心の碑」を見上げて懐かしい今出川キャンパスへ。今やっているNHKの連続テレビ小説「まんぷく」の大正時代の街並みのロケ地に使われたのが、国の重要文化財のこの赤煉瓦建築である。明徳館前の受付にて同志社マークのシールを頂き、背広の襟に貼る。参加のエントリーシートを提出したところ、同志社マークがデザインさ



裏千家の野点では抹茶と和菓子が振るまわれた

れた紫色の今治ハンドタオルを記念品に頂いた。大学歌や逍遙歌が流れるキャンパスを通り抜け、女子大の方へ。式典の始まる栄光館へ急ぐ。

開会式の栄光館へ

「創立143周年記念リユニオン&ホームカミングデー2018」の開会式は午前10時より、栄光館で。次々に集まってくる人の中に竹村神奈川県支部長など関東・甲信地区からのなじみの顔も。東京校友会からも、児玉会長、神内副会長、安井常任幹事、近藤常任幹事、井手口常任幹事、井ノ上常任幹事など多数。総勢は20名ほど。卒業式以来初めて来たという校友



関東・甲信地区からの参加者が集まって記念撮影

もいて「建物は昔のままだが、パイプオルガンが新しくなっている」と話している。

突然、壮麗なパイプオルガンが鳴り響き一同で讃美歌を歌い、横井和彦キリスト教文化センター所長による聖書朗読と祈祷の後、永眠者への黙祷。これがいかに同志社の集会らしい。次にグリークラブOB合唱団のクロバークラブによる新島襄作の「寒梅詩」の合唱が披露された。

庭上の一寒梅
笑ろて風雪を侵して開く
争わず又 力(つと)めず
自ずから占(し)む

百花の魁(さがけ)

新島先生が大磯の百足屋旅館で病床にある時に詠まれた漢詩だが、時を超えて胸に迫ってくる。

式辞では八田総長・理事長が「ホームカミングデーは2000年に学生運動で卒業式がなかった卒業生に卒業式をやってもらおうと呼びかけたのが始まりでした。予想を上回る2千人の人が集まり涙、涙の卒業式を行いました」と挨拶。

歓迎のことばでは松岡敬学長、中村友一校友会副会長、そして、紫色の着物が鮮やかな玉村三保子同志社同窓会会長が登壇し「皆様、ようこそ母校へお

帰りなさい」と挨拶。最後は全員でカレッジソングを斉唱。この歌を歌うときは、青春の血が騒ぎ、胸が熱くなる。そして、もう絶対に会えない友をいつも思い出す。

野点と新島旧邸見学

式典の後は全員で大集合写真撮影。栄光館の前とクラーク記念館の前でも関東・甲信地区から参加した有志に声を掛けて記念撮影。その横では卒業生の裏千家・金澤宗維氏による野点が行われており、着物姿の若い男女が同志社校章の形をした和菓子と抹茶を赤い毛氈に座った卒業生に供してくれる。

イベントには「新島旧邸見学ツアー」もあり、明徳館西側から寺町通丸太町上ルまで無料送迎のマイクロバスが出ていた。到着した新島旧邸は当時としては珍しいバルコニーやセントラル・ヒーティングまで設置した洋風建物。明治8年、新島襄はこの地にあった高松邸の半分を賃借して仮校舎とし、生徒8名で同志社英学校を開校。すなわちここが同志社発祥の地だったのだ。

建物の庭には呼び寄せた両親



キャンパスツアーのガイドは現役学生

のための隠居所として江戸藩邸にあった住居に準じた和風の付属屋を作っており、親孝行な新島襄の優しさを感じる。新島会館の横の植木鉢には同志社の校章にそっくりな三角形が三つの紫色のクロバーがあった。

様々なイベントに参加

大学に戻り、施設公開されている「キャンパスツアー」へ。同志社礼拝堂へは初めて入る卒業生もいて、室内を彩るステンドグラスの美しさに感動していた。また、良心館の真っ直ぐ入った突き当り右側には「2025 ALL DOSHISHA募金」のボードがあり、10万円以上募金した企業・団体・個人の名前がプレートに刻んであった。

その良心館の各教室では政法



エネルギーあふれる応援団の演舞

会や心理学やESSやゼミ等37もの同窓会が行われていた。他にも、明徳館では松岡学長による記念講演「同志社大学の教育改革」が行われ、至誠館では懐かしい写真のパネル展、同窓会によるコーヒーマービスなど。昼食には京の老舗三嶋亭による弁当も販売された。

良心館の地下広場からは勢いのいい応援団の掛け声が響く。吹奏楽部とチアリーダーによる華麗なパフォーマンス。卒業生は野球やラグビーを応援した青春時代を思い出し、ともに応援歌を口ずさみ懐かしむ。こうして校友との楽しい再会の日があつという間に過ぎていった。

再会の旅の短日惜しむかな

文責／作村満明(77年・法)
写真／新田博伸(77年・法)

オール同志社と各地の校友会との絆

地域との交流を深めた 同志社フェア in 広島

昨年までは校祖新島襄や同志社草創期に関係のある、いわゆる「ゆかり」の地で開催されていた「同志社フェア」ですが、今年はそれには関係なく、地域の拠点となっている都市での開催となっています。浜松に続く第2弾は、あの広島です。



広島女学院高校音楽部と同志社グリークラブの大合唱は「地域との絆」の象徴

カープ祝勝ムードの中で

9月29日の広島は「赤ヘル」広島カープのセ・リーグ3連覇の祝勝ムードに溢れていました。

「同志社フェアIN広島」の会場クレドビルに隣接する「そごう広島」の店内も優勝セールの真っ最中で、至るところ真っ赤。13時に始まった式典でのメッセージが、知事も市長もみなさんお約束のように「カープ3連



「地域との絆とビジョン2025の募金」を語る松岡学長。佐藤優氏は「同志社の卒業生は優秀だ」と雄弁に。

覇、おめでとうございます」のフレーズから始まるのも、まさに広島。松岡学長も、さかさず挨拶の冒頭にそのフレーズを入れて、つかみはOK。続いて、「広島地域との卒業生の就職支援協定」は極めて順調に推移し、十分な成果も上がっている、と語って、広島との固い絆を強調しました。

講演で登場した佐藤優客員教授も、学長の「就職支援」コンセプトに続けて、同志社ブランドの強さをテーマに熱いスピーチ。最近、野村證券や文藝春秋など世間注目の企業の社長に校友が続々就任していることを例に挙げながら、同志社の卒業生の優秀さを雄弁に語りおろしました。そうした中、満員の会場で一番受けていた佐藤教授提供の話題があります。

「最近、高校の進学担当の先生や予備校の先生の中では、例の『関関同立』というくくり



校友会広島県支部（新谷哲章支部長）心づくしの懇親会「同志社人の交流」。盛りだくさんの海山の美味を前にグリークラブが御礼の合唱。

代わって「関関同立」といわれている。同志社はもう、頭ひとつ以上、抜けてしまったんだ」ともともと、「関関同立」というくくりは昭和45年頃に大阪のさる予備校の校長が大阪にある大学を応援するために作ったキャッチコピー。当時からこのくくりを一番嫌がっていたのは同志社、といわれていますが、そうした気分は広島地域にもあったとみえて、この話題はあとの懇親会までずっと続いていたのでした。

文責／谷村和典（72年・文）
写真／片桐 陽（67年・工）



著書のサイン会には長蛇の列が

特別講演会 レポート

時代は人生二刀流へ！大学 教授・弁護士&歴史作家の 時間の使い方

作家 赤神 諒さん

昨年、「大友二階崩れ」にて日経小説大賞を受賞された赤神諒さん。文学部卒業で、上智大学教授・弁護士。さらに昨年、作家デビューをされました。

9月12日（水）18時半より、東京サテライトキャンパスで行われた講演会には71名の校友が参加。著書のサイン会が催され大人気。

講演会冒頭で、大学在学中に、司法試験に合格、弁護士となったこと、上智大学では行政司法環境問題を教えていること、作家としては現在20作の依頼を受

けていることを披露し、自称「ブレイク寸前作家（笑）」と自己紹介。以下はご本人のコメントです。

*

二刀流における天職とは、休日感覚のない大好きな仕事のこと。その道でプロになるには1万時間が必要です。1日10時間やって3年掛かります。天職とは探すのではなく、作り上げるもの。二刀流は異業種・異人脈の濃密な人生を過ごせます。時間確保のためには、無駄な人付き合いは断り、仕事は選びやりたい仕事に絞ることです。

前提としてまず「やる気」ですが、そのためには120%の健康が必要。早寝早起、熟睡、自宅禁酒、年間160回のジム通いで体力を増強し、ヨガや氣功をやっています。時間の使い方は「一球入魂」で、小説を書く時も資料を調べながら考えて、同時進行で書いていくのです。

*

文責／作村満明（77年・法）

「立教経済人クラブ」の交流

友好的な雰囲気の中で 講演会とレセプションが

10月22日（月）、立教経済人クラブ主催による第1回ビジネスパーソンのセミナーが、同校池袋キャンパスにて開催された。

東京校友会では、対外交流事業の一環として本年より立教経済人クラブと、スポーツ応援、セミナー参加等々、交流を深めている。今回は同クラブが、東京校友会との交流事業として経済セミナーを開催、東京校友会より31名、同クラブより52名が参加し、盛会裡に実施された。

第1部では、同クラブ会長、（株）大塚商会の大塚裕司社長より「信頼に応える経営を目指して」と題し、同社CMでお馴染みのワンストップソリューション「たのめーる」戦略、ITを活用した経営改革などについて講演があった。

第2部では東京校友会児玉会長より挨拶と乾杯の後、懇親会に移り、両校の学校紹介、校歌披露などで、交流を深めた。

1875年の同志社創立より



立教大学の池袋キャンパス

遡ること1年、1874年に立教大学の前身「立教学校」がウイリアムズ主教によって開設された。以来140年にわたり、両校はキリスト教主義による人格形成を目指し、リベラルアーツの伝統を育んでいる。またラグビー、サッカー、テニスをはじめとする多くのスポーツ定期戦や音楽演奏会など、長い交流の歴史がある。立教大学の沿革、歴史薫るキャンパスに触れ、両校の歴史、交流を改めて感じるとる池袋の夜となった。

文責／桐山輝夫（76年・経）

人は寝ているあいだも、
空気を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に
心地よい空気とは何かを考え続けています。
人と空気のあいだに、いつもダイキン。

ダイキン工業株式会社



連載 東京校友会はじめて物語(10)

東京校友会の名称のはじめて ～東京支部から 東京校友会へ～

全国にある校友会支部の中で東京だけが、「東京校友会」と名
のっている。結城哲彦元代表幹事に名称の変更について聞いた。

まずは呼称変更から

名称変更は2005年に雲川俊夫支部長になってからです。その頃、京都では校友会本部とスポーツユニオン（以下、ユニオン）の対立が本当に激しく、機能不全の状況でした。そうした中、同志社の関東における存在感を高めるためには、京都に頼っていてもどうしようもない、東京が頑張るしかないとの思いがありました。

東京ではユニオンとは争いはなく仲良くしなければと思い、私（結城）と大和さんの二人で京都の西田専務理事に会いに行きました。こちらの申し入れは、東京の主体性を出したいので呼称を「東京校友会」としたいということ。回答は「東京支部」と「東京校友会」を併記するから構いませんとのことでしたので、「東京支部」の呼称を「東京校友会」にすると決めました。個人的に昵懇で仕事でもお世話になっているユニオンの人でも、校友会本部と対立している中で「校友会東京支部」の会には出にくいということで、隠れキリシタンのように参加される状況だったからです。



結城哲彦元代表幹事

スポーツユニオンとの関係改善

雲川支部長が2007年に支部長を勇退され、セコムの木村昌平氏が支部長に就任。その時、東京校友会は「校友会とユニオンのどちらかの肩を持つのではなく、不偏不党で行こう」という方針を決定しました。

そのうち、2008年に硬式野球部が神宮球場にすることに、東京校友会では関東に大会でやってくるスポーツ団体に助成金を出すことを決め、予算化しました。すると、東京校友会は口だけではなく助成金も出してくれるというのがユニオンに広まり、総会に招待されることになりました。木村支部長と一緒にユニオンの総会に来賓として招かれて挨拶をするという京都では考えられないことが東京ではできるようになりました。東京ではユニオンとこうして良好な関係ができたのです。

東京に色んなスポーツ団体がどんどん来てほしい、関東での同志社の存在を高めてほしいという気持ちから始めたことですが、予算化して助成金を出すことで、京都と東京の心が繋がりが持ちが一つになるきっかけになりました。

呼称から正式名称へ

本来、支部をまとめるのは本部の仕事ですが、できない状況なら代わりに東京がやるしかないとの思いでやってきました。校友会の牽引役として関東・甲信の支部とも連携してきました。また、東京校友会は関東にいるすべての同志社人の旗振り役として、大学だけではなく、女子大、その他同志社の学校卒業生に範囲を広げていきました。

そうして、2009年に規約を変更して「同志社東京校友会」を正式名称にいたしました。

このように、2005年から2010年まで東京校友会が必死に頑張ってきたことが、本部にも大学にも嬉しい化学反応を起こし、現在の校友会に繋がっているのだと思います。

*

文責 作村満明（77年法卒）

IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します！

明光電子一社で全ての部品がそろい、
技術サポート、製造、検査までのプロセスを
「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、
電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供
広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う
深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制



明光電子 株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜IOビル
FAX: 045-471-2377
E-mail: info@meicodenshi.com

☎ 045-471-2223

明光電子 |

検索

代表取締役 十川 正明
(昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)



西日本大会での友野一希選手

同志社スポーツアトム編集部／発

同志社スポーツ

フィギュアスケート部 友野一希選手 ロシア杯で3位

友野が自身初となるグランプリ(GP)シリーズのメダルを手にした。今季は自らの手でシリーズ2戦の出場権を勝ち取った。表彰台を目標に掲げるも、スケートカナダは9位に終わる。再起を誓うロシア杯では、ショートプログラム(SP)を大きなミスなくまとめ4位につけた。逆転をかけたフリースケーティング(FS)は4回転ジャンプを2本跳び、自己ベストを更新。大舞台で自身の力を見せつけた。

ロシアで魅せた

日本から遠く離れた地で日本のスケーター2人が世界を相手に戦い、揃って表彰台に立った。1人は羽生結弦(ANA)。そしてもう1人は、友野一希(スポーツ健康科学部2年)だ。

SP4位からの逆転をかけた、友野の『リバーダンス』が始まる。1本目は4回転サルコーの連続ジャンプだ。勢いよく踏み切り、オーバーターンで着氷する。それでも意地で2回転トーループをつけた。続くジャンプも4回転サルコー。2本目

の4回転ジャンプは美しい文句なしの出来栄で、加点もついた。勢いは止まらない。トリプルアクセルなどの高難度のジャンプを次々と着氷させ、全てのジャンプをまとめた。

FSは156・47点、SPとの合計で238・73点となり自己ベストを更新。何より注目すべきは、演技構成点(PCS)だ。これまでは7点台が主だったが、今大会では8点台がつくようになった。優勝した羽生を初めとするトップスケーターたちは8点台を揃える。まだ点差はあるが、確実に彼らに近づいている証拠だ。

次なる舞台へ

友野はもう、次を見ている。結果には「素直に嬉しい」と喜びをにじませたが、「試合が終わってほっとしたという思いはあるが、もつと出来たという気持ちの方が大きい」。12月には国際大会への出場権にかかわる全日本選手権が控える。「既に次の試合に気持ちが向いている」。

世界を舞台に、鮮やかに友野が駆け上がっていく。どこまでも上へ、上へ。友野の挑戦は続く。(名倉幸・社会学部3年)

●スポーツユニオン関東支部総会レポート ラグビーワールドカップ 2019への期待と展望

10月28日(日)、東京神田の学生会館において、第15回関東同志社スポーツユニオン総会が開

催され、来賓・役員含む170名が出席、盛会かつ熱気あふれる総会となりました。

例年通り、総会は三部構成で、第1部では、活動報告や運営方針の説明、ユニオン本部からの「同志社スポーツユニオン21募金」や「青年幹事会」設立等の報告がありました。

第2部は、例年は講演会ですが、今年は少少趣向が変わり、来年に迫った「ラグビーワールドカップ2019への期待と展望」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。

パネリストは、日本代表キャップを持つ廣瀬俊朗氏(慶應OB)と望月雄太氏(同志社OB)。ハンドボール部OGの阿部百恵さんのソフトでウィットに富んだコーディネートによって、両氏の本音がドンドン引き出され、大変面白いセッションになりました。

した。

特に、日本代表のワールドカップ自国開催を控えた現在の立ち位置など、興味深いお話を聞くことができました。

ズバリ日本代表は勝てるか？との問いに対して、「チーム力は向上しており、選手たちの主体性が高まっているので、期待できる」とのこと。楽しみです。

第3部懇親会では、東京校友会児玉正之会長より関東地区開催の全国大会に出場したクラブへ支援金が贈呈されました。

文責／青木重之(78年・経)



ラグビーW杯についてのパネルディスカッション

連載
企画

片桐家同志社五代記

その下七

文／片桐 陽(67年・工)

中学の卒業アルバムをみると、私は英語部、弦楽部、絵画部、そしてホザナコーラスに属していたらしい。全て文科系のクラブで、スポーツには全く縁遠かったようだ。

弦楽部では、通称シャモと呼ばれる本宮敬先生が部長で、その指揮で毎年秋に開催される学芸会にオーケストラを結成し演奏をしたが、可笑しいことに三年間全てモーツァルトのアイネ・クラ

イネ・ナハトムジークだった。小学校六年生までヴァイオリンを習っていたので、取り敢えず弾けたが、私より上手い部員が何人



昭和35年ホザナコーラス中堀・猿橋先生と3年生一同
筆者は後列中央

もいたので、私はずっとセカンドヴァイオリンを弾いていた。

英語部では、三年生の時の暗唱大会でリンカーンのゲッツバークアドレスをスピーチした。結構発音や内容には自信があったのだが、もっと長い文章を暗記したOさんが一位になり、私は二位だった。

絵画部は、ホザナコーラスの部長だった中堀愛作先生が部長だったので入部していたようだ。

さて、ホザナコーラスだが、ホザナとはヘブライ語で「今、我を救い給え」という意味で、毎朝の礼拝に奉仕する聖歌隊でもあった。大正12年に第一回の卒業生を出している随分歴史ある合唱団で、毎日の礼拝の賛美歌や最後の祝祷の後のアーメンコーラスを歌わねばならず、練習は結構厳しかった。

ホザナコーラスは、混声合唱団で、一年生から所属したが、その頃はまだ声変わりもしておらず、男ながら最初はソプラノ、二学期くらいにアルトに移り、その後テナーから、二年生になってベースに

なったと思う。そんなことで、メサイアのハレルヤコーラスは、各パートを覚えて歌えるようになった。

ホザナコーラスは、部長の中堀先生と音楽の猿橋恵子先生の指導を受けて練習に励んでいたが、毎日の礼拝の奉仕以外に学芸会などでも演奏をした。

また夏休みなどには楽しみの演奏旅行があり、部員達と各地の教会の礼拝に奉仕させていただいたりした。小学校などでも修学旅行で男女一緒に旅行する機会があったが、そろそろ思春期を迎える時期で、異性の仲間と一緒に旅行が出来るのであるから楽しいことは勿論で、旅行中に一気に親しくなっていくことが嬉しかった。

それと、聖歌隊なので、クリスマスシーズンは最盛期である。クリスマスページェント、クリスマス礼拝等の奉仕もある。イブのキャンドルライトサービスはろうそくの灯りで行われ、大変雰囲気のある礼拝でムードは盛り上がる。礼拝後は、ろうそくを手に先生のお宅などを回って聖歌を歌うキャロリングが毎年の恒例行事で、好きな仲間と一晩中過ごすのが楽しかった。

連載
コラム

今出川四季



株式会社ガイアックス
代表執行役社長
上田祐司(97年・経)

アルバイトやボランティアで社会経験

同志社大学時代での思い出として、アルバイトやボランティア経験が真っ先に浮かんできます。同志社中学校からお世話になっていた私は、正直、勉強もあまりすることもなく、30近いアルバイトやボランティアをしてきました。スノーボードサークルにも属してはいましたが、社会にもっと触れたくて、このような活動をしていました。自由で伸び伸びとした学風の同志社だからこそ、こんなに好きなことを思いっきりできたのだと思っています。

ボランティア活動では、子どもたちにキャンプを通じて人として大切なことをどう学んでもらうのか、ということを、仲間もともにキャンプを通じて人として大切なことをどう学んでもらうのか、ということを、仲間

ボランティア活動では、子どもたちにキャンプを通じて人として大切なことをどう学んでもらうのか、ということを、仲間



ボランティア活動の仲間と(前列左端が筆者)

この分野は、世界に比べ日本では、ほとんど普及が進んでおりません。消費者同士がつながる世の中です。これまでの企業中心の社会から、市民・消費者同士が助け合う社会になるべきです。そのような社会づくりを目指すことで、一国の良心になることを目指したいと思っています。

証券の世界の財産は、「人材」です

野村証券株式会社 代表執行役社長
森田敏夫さん 1985年(昭和60年) 商学部卒

昭和36年(1961年)、鳥取県生まれ。昭和60年3月、同志社大学商学部卒。同年4月、野村証券株式会社入社。平成13年、池袋支店長。18年、福岡支店長。20年、野村証券執行役員中国・四国・九州担当。22年、野村証券常務。23年、野村ホールディングス常務。28年、野村証券代表執行役副社長 29年より現職。



うまく行っていないときに、どうお客様と向き合うか、が大事(写真・新田博伸/77年・法)

校友 訪問

たとえば「貯蓄から資産形成へ」。この流れをリードし、新しい金融ビジネスの世界を拓いていくのもトップ企業の使命と語る森田社長。お金の知識を体系的かつ実践的に習得できる有料講座「野村金融アカデミー」の発足も、トップ企業ならではの試みです。

野球漬けの日々からの解放

出身は「山陰の大阪」といわれる鳥取県の米子。商業の町です。『巨人の星』世代ですので、子どもの頃から野球一筋で、文武両道の伝統校、米子東高校でも野球部で懸命に甲子園をめざしました。母校は何度も甲子園に出場していますし、今春のセンバツも出場すると思いますが、私がセンターで主将のときは県予選決勝で1対2で敗退。悔し

かったですね。先日同期会があった。「授業中、森田が目立ったことは一度もなかった(笑)」と言われました。練習で疲れて、ほとんど寝ていたんでしょう。

京都には町としての憧れもあって、同志社の商学部に進学。下宿は上賀茂のいわゆる学生アパートで20人ほどの学生が全員同志社。皆さんとはかなり親密に付き合うことになりました。ミニバイクでキャンパスまで通いましたが、野球漬けからの解放感もあって、申し訳ありませんが勉強より「青春を謳歌する日々」であったと思います。

そうして「栗栖ゼミ」で卒業期を迎えるわけですが、そこで、先の下宿で親しかった先輩に言われたことが印象的でした。「トップ企業とそうでないところは、やはり差がある。トップ企業は自らマーケットを創造していいこう」という意識、社会的使命を担っているという意識が強い。そこが違う」ということ。それで私は業種に関係なく「トップ企業で働きたい」という思いを持ちました。また、解放感と開放感に溢れる学生生活は楽しくはあったけ

れど、どこかに満たされないものも感じていました。ですから私は「厳しくてもやりがいのある業界のトップ企業に」という志望を持ったわけです。

タフさと、やさしさ

「うちは楽しいよ」というところより「我が社は厳しいぞ」というところ。そういうトップ企業に挑戦して、幸い内定を幾つかいただき、その中から野村証券に入社しましたが、先輩から「君が思っている以上に厳しいぞ。ただ、本当にやる気がある人間には、非常にやりがいのある会社なんだ」と言われました。

覚悟はしていたんですが、たしかに「想像以上」に厳しかったですね(笑)。個性の強い人が多い会社で、そういう先輩方に徹底的に鍛えていただきました。エピソードは多々ありますが、基本的に「愛情のある厳しさ」。「自分を超えるような人間になるように育てる」ということ。いい仕事しようという人間には次々と「ちょっと高めのハードル」が用意される。もちろん失敗もある。でも、そこから得る「成長」

のほうを見ていこう。私は、この人材育成法は我が社の社風かな、と受け止めています。

形のあるものを売っているわけではない証券の世界で、「財産」とは何か、といえば、それは「人材」です。この世界で「設備投資」といえば「人」しかありません。

絶えず変化する経済状況に瞬時に対応していくということでは非常にやりがいがあるビジネスです。変動商品を扱う以上はお客様との信頼関係なくして成り立たない仕事でもあります。そういう意味では全人格をかけたビジネスであり、仕事であると思っています。うまく行っていないときはいいんです。そうではないときに、お客様とどう向きあえるか。まさに「人間力」が問われているわけです。

そう言う意味で、私が「好きな言葉」を問われたときに、チャンドラーの小説の主人公のせりふ「タフじゃなければ生きていけない。やさしくなければ生きる資格がない」をあげるのもお分りいただけると思います。

文責・谷村和典(72年・文)

「同志社東京メディアクロンバー会」設立総会 「メディアの同志社」再び、の機運が

徳富蘇峰を言うまでもなく、長くジャーナリズム、メディアの世界で重きをなしてきた同志社人の流れ。それをいま一度、大きく、太く……

「メディアの同志社」再び

9月28日（金）の夜に、同志社東京サテライト・キャンパスにて開催された「同志社東京メディアクロンバー会」設立総会は、参加者100名超の大盛況。

これは先に関西で設立された「同志社メディアクロンバー会（会長／河内一友MBSメディアホールディングス・毎日放送会長）」の動きに呼応したもので、首都圏のメディア関係者有志が何回かの準備会を重ね、ようやくこの日を迎えたもの。

一昨年設立された関西でのメディアクロンバー会は、大学



エネルギッシュなヤフー・宮坂会長

側との連携も深め、学生のキャリア支援だけでなく、大学での「授業」といった、ひとつの成果もすでに実現させています。

ただ、どうしても関西の場合、新聞、放送ジャンル中心の「メディア」になってしまいますので、雑誌・出版、IT関連、広告・PR関連も含め、広汎なメディア関係者を網羅できる東京・関東圏での「メディアクロンバー会」設立が待たれていたわけです。少し前には「九州メディアクロンバー会」の設立もあり、ここにきて一気に「メディアの同志社」再び、の機運が高まってきたようです。

現役のメディア関係者を中心に

さて、今回設立された「同志社東京メディアクロンバー会」ですが、陣容を紹介しておきましょう。会長にはヤフーの宮坂学取締役会長、副会長にはカルチュア・コンビニエンス・クラブの増田宗昭代表取締役社長兼CEO、アサツー・デイ・ケイの植野伸一代表取締役社長、文



参加者のほとんどが参加した懇親会も熱気に満ちて

藝春秋の中部嘉人代表取締役社長、コミュニケーションデザインズの玉木剛代表取締役といった錚々たる方々が就任。また、NHK、日本テレビ、読売新聞、毎日新聞、講談社、小学館、KADOKAWA、朝日新聞出版、電通、博報堂、時事通信等々に在職の方々を中心とした常任理事、理事、役員も紹介されました。

挨拶に立ったヤフーの宮坂会長は、「ワイルドに攻める！そういう会にしたい」と、早速会員を鼓舞。松岡学長も「この動きは大学にとっても頼もしいし、学生にも刺激的」と大喜び。児玉東京校友会会長も「強力な公認団体が増えたね」と大歓迎でした。

文責／谷村和典（72年・文）

第4回親睦ゴルフコンペ開催 団体優勝は39会

昨年の10月17日（水）、絶好のゴルフ日和に恵まれた千葉県の太平洋クラブ市原コースで第4回親睦ゴルフコンペが開催された。

総勢43名の男女が集い、年次会やクラブや同好の仲間が思い思いのチームを組んで熱戦を繰り広げた。

競技は新ペリア方式で、チーム戦は一組の中の上位3名のスコアが順位判定の対象。

優勝はネット224・8打で39Old Boysチーム。優勝はベストグロス78の吉野博視



プレーの合間に記念撮影



チーム戦優勝の39Old Boys

さんの貢献度が大。準優勝チームは北濃登美男さん率いる41会。3位は52会となった。

個人戦ではグロス88ネット73・6の田中義一さん（48会ゴルフ部）が優勝。準優勝はグロス81の中川勝博さん（46B）。3位はグロス87の井尻晴久さん（39Old Boys）。

東京校友会児玉会長賞、太平洋クラブ賞（キャディバッグ）ほか、飛び賞はじめ数々の賞が全員に行き渡り、和気あいあいの表彰式が盛り上がった。

次回の親睦ゴルフ第5回大会は10月16日（水）に開催予定で、詳細は今春別途ホームページに掲載される予定。

文責／近藤義彦（69年・経）



「天ぷら 一宝 東京店」

- 住所：東京都中央区銀座6丁目8-7 交詢ビルディング5階
- 電話・予約：03-3289-5011（オンライン予約も可能）
- 営業時間：平日 昼食 11:30～14:00（LO）
夕食 17:30～21:00（LO）
土日祝 11:30～20:00（LO）
- 定休日：無休
- 席数：50席（個室4室）
- アクセス：地下鉄銀座線銀座駅 A1,A2 出口徒歩3分
JR有楽町線、新橋駅徒歩5分



天ぷら 一宝 東京店

（好評連載）首都圏・校友の店

6

天ぷらの歴史とともに歩む、大阪いや日本を代表する天ぷらの名店の登場です

創業江戸末期、160年以上の歴史に裏打ちされた格式と伝統の技。江戸前とは異なる、旨味と軽さが特徴の上方風天ぷらの粋をぜひご堪能ください。

1850年頃、大阪本町で創業した「天ぷら 一宝」は、そもそも油問屋のご子息がサイドビジネスとしてスタートしたお店なのだそうです。商都大阪らしい創業のエピソードですね。

今回は、上方風天ぷらの名店「天ぷら 一宝」東京店代表の関勝さん（89年・文）にお話を伺いました。関家は、お父様や弟さんも同社という同志社ファミリーで、ご本人も香里中・高のご出身、体育会テニス部OBというスポーツマン。

今や世界的に有名な日本料理となった天ぷらですが、江戸と上方ではどんな違いがあるか訊いてみると、基本的に、油が異なるそうで、江戸は胡麻油を使うが、上方では使わないとのことでした。

「二宝」では、極上で新鮮な紅花油をふんだんに使っているから、軽くて、においも付かず、素材の旨味を損なうこともありません。関さんによると、天ぷらは野菜の素材



旨味と軽さの上方風天ぷら

「二宝」の特徴と言えば、個室でのお座敷天ぷら。周りに気兼ねせず、ゆったりと語らいを楽しめる配慮がうれしいですね。校友の皆様も、お仕事や会合、またはファミリーイベントなどにぜひご利用ください。

文責／青木重之（78年・経）
写真／仁藤正平（78年・商）



東京店代表の関勝さん

業界トップクラスのPRクオリティ。
PR業務は、当社におまかせください。

communication design

TEL : 03-5545-1661

HP : <https://www.cd-j.net> 平日 10:00～18:00（土日祝除く）

株式会社コミュニケーションデザイン 港区六本木 3-5-27 六本木山田ビル 1 階（六本木通り沿い）

代表取締役社長 玉木 剛（文学部英文科卒業）
著書に『戦略PRの仕掛け方』（PHP 研究所）、『影響力』（ダイヤモンド社）など
同志社東京メディアクローバー会 副会長

PR スーパーバイザー 寺石 明人（文学部哲倫卒業）
同志社東京メディアクローバー会 理事

当社は「PR 視点」で広報/PR・出版・イベントなどのマーケティング施策をワンストップでサポートしています。
＜クライアント＞
自動車、電機、ホテル、食品、教育企業、アパレル、薬品などの東証一部上場企業を含む BtoC、ネット銀行、ネット生保、証券、コンサルティング会社、人材研修会社などの BtoB ～ベンチャー企業、そして士業（医療、弁護士、社労士）などの専門家 PR まで、実績 500 件以上
＜事業内容＞広報/PR に関する
●戦略 PR 企画 ●書籍プロデュース（商業出版 300 冊以上の実績）●イベント、セミナーの企画・立案・代行業務など

**東京クローバークラブ
創立60周年記念演奏会報告**

同志社グリークラブOB合唱団として1958年に創立した東京クローバークラブが、昨年60周年を迎えました。

クローバークラブは、第一回演奏会を東京産経ホールで開催して以来、定期演奏会はもちろん、アメリカ本土各地、ハワイ、台湾、韓国、中国での海外演奏をはじめ、日本各地でも教会コンサートを開催し歌い続けてきた由緒ある男声合唱団です。

この記念すべき演奏会にグリークラブ出身でもない私が舞台に立つことになり、昨年の1月から練習に参加しました。私事になりますが、グリークラブは私の祖父の弟片桐哲が創立者で、そのような縁で幹事長の影田さんからベースの応援依頼を受け、無謀にもお受けしたのです。

記念演奏会は、4人の指揮者



演奏会の会場は紀尾井ホール

**すみれ亭 昭和38年会俳句会
手越つく晴れぎの袖をもてあまし**

山本 まさ

へ坊さん頭は丸太町 つるりすべつて竹屋町
水の流ればえす川 二条で買った生菓を
ただでやるのは押小路 雪駄ちゃらちゃら魚の棚
…ああ口さがなき京雀の囃す正月もはるか昔…(選評・あかぎ倦鳥)

幹事会・評議員会レポート

11月28日(水)、東京キャンパスセミナー室にて幹事・評議員の皆様83名の方にご出席いただき合同会議を開催、以下の事項を全会一致で承認されましたので、その概要を報告します。

2022 All Doshisha 募金

校友会作成の募金促進ビデオ上映後、現在の募金活動進捗状況を説明。当会の今後の対応について熱く議論しました。

■次に、幹事・評議員の追認及び退任について報告しました。

■本年度活動について各担当常任幹事から報告いたしました。

①来年の「初夏の集い」

2019年6月16日(日)に開催予定、進捗状況を説明

②特別協力会員の集い実施報告

③新ビジネス企画の事前説明

④2月12日(火)の「生誕の地碑前祭」当日の企画について報告

⑤親睦ゴルフ大会の報告

第4回の実施報告と来年10月16日(水)開催予定を連絡

⑥事務局より事務所の本籍変更、会計状況等について報告

■連絡 2019年度総会・評議員会・幹事会は6月27日(木)

文責／横山 徹(71年・工)

**同志社東京校友会事務所
移転のお知らせ**

本会の事務所としておりました、東京都千代田区内神田3-22-7 大平ビル6F が9月末で業務終了になりましたので、10月1日より左記に住所(本籍地)を変更いたしました。

〒104-0061

東京都中央区銀座1-15-7

MAC銀座ビル3F

なお、電話・FAX・メールアドレス等に変更はございません。

編集後記

次号より年次会やサークル等の活動状況をご紹介します新連載「登録団体紹介」をスタートします。どうぞお楽しみに。

文責／新田博伸(77年・法)

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2019.January. NO.114 同志社東京校友会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F

電話：03-5579-9728

FAX：03-5579-9729

発行人／児玉正之

編集人／新田博伸

印刷／株式会社スバルグラフィック

<http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp>

mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875

和食・ご宴会



がんこ

がんこフードサービス株式会社

〒532-0026 大阪市淀川区新北野1-2-13
TEL.06-6308-2288 (代表)

宴会ご予約承り中

<http://www.gankofood.co.jp>